

学校法人 北工学園 旭川福祉専門学校
令和4年度 学校関係者評価委員会 議事録

日 時 令和5年3月28日(火) 14:00~16:00

開催場所 学校法人北工学園 地域生活支援センター「ふれ愛の郷」2階 研修室
(上川郡東川町進化台 第1校舎向い)

出席者 菅原 信子委員(旭川のびろ保育園園長、社会福祉法人旭川葦の会理事、全国民間保育所経営懇談会役員)

片山 寛美委員(NPO法人ノーマライゼーションサポートセンターこころりんく東川理事長)

新家 修 委員(旭川赤十字病院情報システム課長)

小山 正道委員(東川町立日本語学校校長)

[学校関係者]

三宅 良昌校長・黒田 英敏副校長

成田 潤子こども学科学科長・富塚 稔 介護福祉科学科長

二階堂 巧医薬福祉学科学科長・伊藤 紫日本語学科学科長

内 容(議事及び評価内容)

1 開会 出欠報告 校長挨拶

2 評価方法等説明

3 議長選出 黒田副校長が議事を進行すること了承いただく。

4 学校関係者評価委員会開始

以後議長の進行のもと各評価項目について、担当した教員から自己評価の報告がなされ、これに對して委員から評価・意見が述べられる。

①令和4年度重点目標と達成計画

委員評価: 適切4 不十分0 不適切0

→ 黒田自己評価内容報告

→ 以下、委員からの意見、評価等

・コロナ感染防止のため対策やオンライン授業の実施、更にコロナ罹患学生の隔離や世話、保健所への報告など、学校職員の仕事量が増大した。その中にあって、学生の目標の達成や進路の実現など成果を上げたことは素晴らしい。

・コロナ禍にあって、先の見えない中でも学生の学びの場の保障や、学習環境を保障することに努力されている。

・コロナ禍が続く中でもやれることを増やしながらの対応を努力されていることが分かります。

②基準1 教育理念・目的・育成人材像

委員評価: 適切4 不十分0 不適切0

→ 黒田から自己評価内容報告

→ 以下、委員からの意見、評価等

・こども学科の「卒業記念発表会」はとてもすばらしかったです。地域のこどもたちに是非見て

欲しいと思いました。コロナがおさまりつつある中、そういう機会をつくっていただきたいと思います。

・就職率100%や介護福祉士国家試験の受験率及びJLPTの受験率から熱心に学業に取り組んだ様子が伺えます。

③基準2 学校運営

委員評価：適切3 不十分1 不適切0

→ 黒田から自己評価内容報告

→ 以下、委員からの意見、評価等

・情報管理システムの項目以外については、適切だと思います。

・コンピュータシステムが古くなり、支障を来す事になりかねないので新しいものへの検討が必要なのではないか。

④基準3 教育活動

委員評価：適切4 不十分0 不適切0

→ 富塚から自己評価内容報告

→ 以下、委員からの意見、評価等

・地域との連携を意識した教育活動の工夫と展開の強化を期待します。

・教科課程委員会の充実や校務分掌の業務分担化に取り組まれ成果をあげていると思います。

⑤基準4 学修成果

委員評価：適切4 不十分0 不適切0

→ 伊藤から自己評価内容報告

→ 以下、委員からの意見、評価等

・今後のネットワーク作りに期待しています。

・高い就職率を維持していると思います。

・学生の進路の実現達成という点では素晴らしい結果を残したと思います。効率よく時間内に終わらるのが教育という現場なのだと思います。学生の高い希望の実現のためにも尽力されたものと察します。

⑥基準5 学生支援

委員評価：適切3 不十分1 不適切0

→ 成田から自己評価内容報告

→ 以下、委員からの意見、評価等

・退学率の低下やカウンセラーや奨学金の支援制度の充実、健康啓発については、エネルギーを使うところですが、課題としての視点がおかれ対策しています。

・多様化が進んでいる学生ニーズに向き合っていると思います。教員間の連携を含めこれからに期待します。

・中途退学者が一定程度いるが、入学後のフォローの仕組みの研究、検討が必要になっていると思います。

⑦基準6 教育環境

委員評価：適切3 不十分1 不適切0

→ 二階堂から自己評価内容報告

→ 以下、委員からの意見、評価等

・環境整備やICT化への取り組みは、資金的な課題として対策が必要。

・夏のクーラーは必需品なのではないか。今どきの学生には、あたり前となっており、入学希望にも影響を及ぼすのでは内でしょうか。

⑧基準7 学生の募集と受け入れ

委員評価：適切3 不十分1 不適切0

- 二階堂から自己評価内容報告
- 以下、委員からの意見、評価等
 - ・少子化が進む中での学生の募集は大変だと思います。ネットでの学校、環境、地域の紹介やオープンキャンパスや相談会の充実に期待します。
 - ・口コミが大きな影響を与えると思われます。ホームページに加え、学生発信のフェイスブックやインスタグラムの活用も検討されると良いと思います。
 - ・入試対策委員会を検討とのことで期待します。いろいろな働き方の条件を考慮しながら連携、協力をしあえる職員集団づくりもよい学校づくりにつながると思います。

⑨基準8 財務

委員評価：適切4 不十分0 不適切0

- 黒田から自己評価内容報告
- 以下、委員からの意見、評価等
 - ・整備されていると思います。
 - ・学生数の減少は少子化で今後も続くことが予測される。魅力ある学校づくりが財務改善にもつながっていくと思います。

⑩基準9 法令等の遵守

委員評価：適切4 不十分0 不適切0

- 黒田から自己評価内容報告
- 以下、委員からの意見、評価等
 - ・定期的に職員共有の学びにも必要になると思いますので最新の情報のキャッチにもアンテナが必要だと思います。
 - ・充実徹底されていると思います。

⑪基準10 社会貢献・地域貢献

委員評価：適切3 不十分1 不適切0

- 黒田から自己評価内容報告
- 以下、委員からの意見、評価等
 - ・コロナ禍のために活動できなかつたが、今後以前のような地域交流・貢献が見込まれると思います。
 - ・学生同士のつながりが大切であると思います。また地域や社会のつながりとしてボランティア活動にも再開していただきたいです。
 - ・コロナ禍の中では取り組みたくてもできない現状にあったと思います。今後、コロナ禍前と全部同じということではなく、新しい方法を編み出す機会にあればと思います。

⑫令和4年度重点目標達成についての自己評価

委員評価：適切4 不十分0 不適切0

- 黒田から自己評価内容報告
- 以下、委員からの意見、評価等
 - ・日本中がコロナ禍での対応をせまられてきました。そんな中でも苦労しながらの活動でしたが、

厳しい目も向けられての自己評価になっていると思います。

・コロナ感染防止のため対策やオンライン授業の実施、更にコロナ罹患学生の隔離や世話、保健所への報告など、学校職員の仕事量が増大した。その中にあって、学生の目標の達成や進路の実現など成果を上げたことは素晴らしい。

・学科の垣根を越えた連携により全教職員の理解共有を推進して下さい。

⑬令和5年度重点目標と達成計画

→ 黒田から報告

その他（全体をとおして）

→ 以下、委員からの意見、評価等

・コロナが落ち着いたら・・・という言葉が飛び交ってきましたが、その間に学生も職員も経験を積めなかつたことが多々あったと思います。大事にしたいことを（全部でなく）選びながら成長できる取り組みをしていただきたいと思います。

・今後はコロナ後の準備が必要となってまいります。また、お話にもありましたが生徒募集や一般の方への広報、学科間での連携（学内での統一）など、課題の多いところですが、将来に向けての活動を期待します。

校長挨拶 委員各位に謝意を述べる

5 閉会 委員会終了